

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2026 年 6 月 30 日	
(あて先) 姫路市長	
提出者 住 所 兵庫県姫路市広畑区富士町1番地	
氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 日鉄ケミカル&マテリアル株式会社 姫路製造所 所長 島谷 智彦	
電話番号 079-236-8286	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	日鉄ケミカル&マテリアル株式会社 姫路製造所
事 業 場 の 所 在 地	兵庫県姫路市広畑区富士町1番地
計 画 期 間	2026年4月1日から2027年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	化学工業製品製造業(1699)
② 事 業 の 規 模	資本金50億円
③ 従 業 員 数	355人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥：球状微粒子の製造工程で発生 →収集運搬委託 →中間処理委託 →最終処分(再生利用) ※代表工程を記載

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括者	操業管理	廃棄物管理	排出業務管理	処分
製造所長	⇒ 各製造部	⇒ 環境安全室 (特管産廃管理責任者)	⇒ 環境安全室	⇒ 外部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	別添 一覧表 の通り		－
	排 出 量	4453	t	－ t
	(これまでに実施した取組)			
	・歩留向上を図り、廃棄ロスを低減 ・歩留落ち品の有価販売先拡大 ・廃棄物発生機会の低減			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	別添 一覧表 の通り		
	排 出 量	4295	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	現在の取り組みの継続・強化			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物からスクラップを分別し、有価物化。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現在の取り組みを継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	-		-	
	自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	-	t	-	t
	(これまでに実施した取組)				
	-				
②計画	【目 標】				
	産業廃棄物の種類	-		-	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	-	t	-	t
	(今後実施する予定の取組)				
	-				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	-		-	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	t	-	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	t	-	t
	(これまでに実施した取組)				
	-				
②計画	【目 標】				
	産業廃棄物の種類	-		-	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	t	-	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	t	-	t
	(今後実施する予定の取組)				
	-				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	-		-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	t	- t
	(これまでに実施した取組)			
	-			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	-		-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	t	- t
	(今後実施する予定の取組)			
	-			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	別添 一覧表 の通り		
	全処理委託量	4453	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	4370	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3900	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	14	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
	(これまでに実施した取組)			
	・歩留向上を図り、廃棄ロスを低減 ・歩留落ち品の有価販売先拡大 ・廃棄物発生機会の低減			

(第5面)

②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	別添 一覧表 の通り		
	全処理委託量	4295	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	4211	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3769	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	14	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	・現在の取り組み継続 ・廃プラスチック類の再生利用業者への委託拡大			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
実績：前年度（2025年度）実績量
目標：今年度（2026年度）目標量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
汚泥	2341	2300	—	—	—	—	—	—	—	—	2341	2300	2341	2300	2341	2300	0	0	0	0
廃油	1399	1300	—	—	—	—	—	—	—	—	1399	1300	1399	1300	1395	1300	4	4	0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び	357	350	—	—	—	—	—	—	—	—	357	350	357	350	0	0	7	7	0	0
木くず	120	115	—	—	—	—	—	—	—	—	120	115	116	110	120	110	0	0	0	0
管理型混合廃棄物	121	120	—	—	—	—	—	—	—	—	121	120	77	76	44	44	0	0	0	0
廃プラスチック類	115	110	—	—	—	—	—	—	—	—	115	110	80	75	0	15	3	3	0	0
合計	4453	4295	0	0	0	0	0	0	0	0	4453	4295	4370	4211	3900	3769	14	14	0	0